

出張報告書

令和 6 年 6 月 10 日

会派名

同志会

会長

小田部 照 様

出張者氏名

栗田 正男

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和 6 年 6 月 3 日(土) ~ 令和 6 年 6 月 9 日(日) [7 日間]						
出張概要	①	月日	R6 6/3	市町村名	東日本	会場	✓
		目的	道路杯三号, 物流環境の調査				
		テーマ	高速網の確認, 各都市の現状調査				
	②	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	③	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	④	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙(任意様式)で作成して下さい。

一 所見 一

当市でも、高規格道路の計画も決定して通入の準備の中核を担う、高速道路の状況を確認するため、車で、東日本全域を調査した。秋田から新潟の一部工事中だったため、毎日全行利、高速道路の利用が可能だった。特に中部、各古屋から神奈川までの車は、深夜の長行程だったため、大型貨物自動車は、相像を超えるものがあった。日本の物流を考える時に、トラック輸送は絶対条件であり、労務時間規制のため、サービスエリアは、どこも満杯状態であった。車の移動は、各都市への訪問も可能で、鈴鹿市では、行政でサポートしているサーキットの見学で生?市と12の経済効果の大きさに驚いた。秋田では、フェリー待ちの時に、鴻上市の態対策についても話を聞いた。車の移動は、東北の移動ではないので、多くの人の交流と新しい居住の建設だった。

出張報告書

令和6年11月17日

会派名 同志会

代表 小田部 照 様

出張者氏名

小田部 照

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和6年11月13日（水）～令和6年11月16日（土）〔4日間〕						
出張概要	①	月日	11月14日	市町村名	札幌市	会場	札幌市役所
		目的	プロスポーツと地域との連携について				
		テーマ	プロスポネットSAPPOROの現状と課題について				
	②	月日	11月14日	市町村名	札幌市	会場	札幌市役所
		目的	ジュニアアスリートの発掘について				
		テーマ	さっぽろジュニアアスリート発掘プロジェクトの現状と課題について				
	③	月日	11月15日	市町村名	札幌市	会場	イーワンスタジアム
		目的	屋内体育施設の視察				
		テーマ	屋内体育施設の利用状況と現状把握（サッポロイーワンスタジアム）				
	④	月日	11月16日	市町村名	札幌市	会場	つ・どーむ
		目的	屋内体育施設の視察				
		テーマ	屋内体育施設の利用状況と現状把握（つ・どーむ）				
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙（任意様式）で作成して下さい。

視察報告書

同志会 小田部 照

11月14日 札幌市

1・札幌市『プロスポネットSAPPORO』の取り組みについて

札幌市では、北海道日本ハムファイターズなどの4つのプロスポーツチームと共に「プロスポネットSAPPORO」を設立し、スポーツ振興やシティプロモーション、スポーツツーリズムの実施など、スポーツを通じたまちづくりを推進している。網走市でも、多くのスポーツチームが合宿に訪れ活動しており、市の魅力向上や市民の郷土愛の醸成、観戦による経済効果などの面から、ホームタウンスポーツの推進やスポーツチームとの連携は重要な取組であると考えられる。ついては、当該市の取組状況や課題などを視察し、本市の参考とするもの。

■参加団体

北海道日本ハムファイターズ、北海道コンサドーレ札幌、レバンガ北海道、エスポラーダ北海道、札幌市

■実施取組内容

① スポーツのすそ野の拡大・観る文化の醸成

ア 札幌市HPにプロスポネットの取組を掲載

イ 札幌市の小学生を無料招待する「サッポロキッズデー」を実施

ウ 各区民（札幌市内10区）を無料招待する「区民応援デー」を実施

エ ホームゲームスケジュールをまとめた「チーム共通カレンダー」を制作

オ FISジャンプワールドカップ2023札幌大会での協力（マスコットイベント実施、ブース設置）

カ 第48回札幌マラソンでの協力（マスコットによるランナー応援、ブース設置）

② スポーツ振興・シティプロモート・スポーツツーリズム

ア 選手等を起用したスポーツ振興動画の制作、試合会場や市内デジタルサイネージ等での放映

③ 地域貢献 ア 市教育委員会事業の「雪かき汗かきチャレンジ」に「プロスポーツネットSAPPORO賞」を贈呈

イ スポーツチームと連携した応急手当の普及啓発活動（消防局）

■課題

- ・ 中長期的な展望を描けず、単年度の取り組みとなる傾向がある。
- ・ チームごとにシーズンが異なるため、調整等一堂に会しての取り組みが難しい。
- ・ 本市を拠点とする4つのプロスポーツチームであることを活かした札幌らしい取り組みの検討。

2・さっぽろジュニアアスリート発掘プロジェクトについて

札幌ジュニアアスリート発掘プロジェクトは、札幌市が中心となり、将来有望なジュニアアスリートを発掘・育成するために行われているスポーツ振興プロジェクトです。この取り組みは、子どもたちが持つ可能性を引き出し、競技力向上や将来的なトップアスリート育成を目指すとともに、地域スポーツの発展を促進することを目的としています。

主な特徴と概要

1. 目的

- ・ 子どもの運動能力を科学的に評価し、潜在的な才能を見つける。
- ・ アスリート育成を通じて札幌市のスポーツ振興を図る。
- ・ スポーツを通じた健全な青少年の育成。

2. 対象

- ・ 主に札幌市内在住の小学生から中学生（年齢制限はプロジェクト内容による）。
- ・ 特定の競技経験がない子どもも参加可能なケースが多い。

3. 内容

・ 運動能力テスト

子どもの基本的な運動能力（瞬発力、持久力、柔軟性、敏捷性など）を測定。

・ 専門指導者による分析と指導

テスト結果を基に、適性が高い競技やトレーニング方法を提案。

・ トライアウトや特別プログラム

適性が高いと判断された子どもたちに対し、専門的なトレーニングや競技体験を提供。

4. 協力団体

- ・ 地域のスポーツクラブ、学校、大学、専門機関など。

- 地元のプロスポーツチームやアスリートがサポートすることもある。

期待される効果

- 競技力向上

将来的に全国大会や国際大会で活躍できるアスリートの輩出。

- スポーツへの興味喚起

子どもたちがスポーツに興味を持ち、運動習慣を身につけるきっかけづくり。

- 地域活性化

地域のスポーツイベントや大会への参加者・観客の増加。

課題

- 持続的な支援体制の構築（資金や指導者の確保）。
- 特定の競技への偏りを避け、多様な競技を広く発掘する必要性。
- 子ども自身の意欲や親の協力を引き出す仕組みづくり。

札幌市のスポーツ振興計画の一環として、地域社会全体で子どもたちの成長をサポートする取り組みです

11月15日 2日目 札幌市

サッポロ・イーワン・スタジアムについて

施設構成、運営状況、利用状況、イベント開催事例などを視察し、今後の網走市の建て替えが必要な総合体育館、オホーツクドームの活用・運営に関する知見を得ることを目的とする。

ii-oneスタジアムは屋内コート2面、屋上コート1面があり、屋内コートは天候を気にする事なく、1年を通して快適な環境でプレーを楽しむ事ができ、屋上コートでは青空の下で気持ちよくプレーをすることができます。そして企画も盛りだくさん。

個人から参加できる「個サル」やチームで気軽に参加できる「Match Make」カテゴリー分けされている大会なら「ii-one CUP」などフットサルを思う存分に楽しめる施設。

フットサル公式戦にも対応の“多目的スポーツスタジアム”

はじめての方からフットサル公式戦サイズをご希望の方まで、幅広い利用シーンに対応できる多目的スポーツコート7面は、一般的なフローリングフロアに比べ、関節や脚への負担を軽減する床材を使用。さらに充実の付帯設備を整え、お客様の快適なご利用をサポート。

1号館屋内コート

ハーフコート2面または公式戦サイズのフルコート1面がとれる屋内コート。必要に応じて280名がゆったりと座れる可動式の観客席もご用意が可能です。

2号館屋内コート

1号館同様に、ハーフコート2面または公式戦サイズのフルコート1面を確保。冷暖房完備の爽やかな2階ラウンジから、ゲームをご覧ください。

1号館屋上コート

フルコート1面を確保。青空の開放的な空間では、天候の良い日に札幌ドームなどを望むことができ、夏季には人気のスペースです。

活用できるイーワンスタジアム

屋内コートは他の体育施設と同等の広さを用意していますので、フットサルだけではなく色々なスポーツの練習場としてご利用いただけます。屋内コートで床材として用いているスポーツコートは、一般的な体育施設で使用されているフローリングフロアと比べると関節や脚への負担が少ない為、安全にスポーツを楽しむ事ができる。

FUTSAL

フットサル

公式戦サイズにも対応した全天候型屋内スポーツコートをはじめ、青空の下でもご利用いただける屋上人工芝コートなど、雪の降る北海道でも1年中フットサルをお楽しみいただけます。

YOSAKOI

よさこいの練習

演舞に求められる「チームの一体感」を極めるため、広い練習スペースを確保したい方に最適な空間サイズ。衣装への着替えにも便利な男女別ロッカールームも、完備しています。

DRONE

ドローンの練習

天井の高さと雨・風の心配がない広いスペースを確保できるため、ドローンの操縦練習にもご活用いただけます。個人利用はもちろん、講習や試験会場としてもご利用が可能です。

RECREATION

社内レクリエーション

日程調整に苦慮するレクリエーションには、全天候型の屋内スポーツコートがオススメです。1号館では可動式の観客席をご用意することもでき、参加者・観客席が一体となって盛り上がります。

所感

サッポロ・イーワン・スタジアムは、フットサルを中心としたスポーツイベントや大会が多数開催されており、地域のスポーツ愛好家にとって重要な施設となっている。

『視察写真』



11月16日 3日目 札幌市

札幌市つどーむ視察レポート

1. 視察の目的

札幌市つどーむの施設構成、運営状況、利用者数、イベント開催事例などを視察し、今後の地域施設の活用・運営に関する知見を得ることを目的とする。

2. 施設概要

- ・ 所在地：札幌市東区栄町885番地1
- ・ 施設内容：
- ・ 屋内施設：
- ・ ドーム型の多目的アリーナ（人工芝を敷設）
- ・ イベントスペース、アスレチックエリア
- ・ 会議室、キッズスペース
- ・ 屋外施設：
- ・ 駐車場、芝生広場、冬季雪遊びエリア
- ・ 主な用途：
- ・ 市民活動、スポーツイベント、展示会、フェスティバル、札幌雪まつり会場（冬季）など。

3. 視察内容

① 施設の運営状況

- ・ 指定管理者制度

札幌市が指定管理者を導入しており、民間事業者による運営・管理が行われている。効率的な管理運営が進められている一方で、市民サービス向上に向けた取り組みも実施。

- ・ 利用料金：

施設利用は市民向けにリーズナブルな価格で提供されており、誰もが気軽に利用可能。

② イベント事例

- ・ さっぽろ雪まつり（つどーむ会場）
- ・ 屋外に雪の滑り台や雪遊びゾーンが設置され、ファミリー層に人気。
- ・ 屋内は飲食ブースや休憩所が設置され、寒さをしのげる空間を提供。
- ・ スポーツイベント
- ・ サッカー大会やフットサルイベントが屋内アリーナで開催されている。
- ・ 地域の交流イベント
- ・ フリーマーケット、展示会、子ども向けイベントが定期的実施されている。

③ 利用者の状況

- ・ 平日：地域住民や学生がアスレチックや会議室を利用。
- ・ 休日・イベント開催時：家族連れや観光客で賑わい、施設の利用率が大幅に向上する。

④ 設備の工夫

- ・ 屋内人工芝エリア：季節や天候に左右されず、スポーツやイベントが開催可能。
- ・ バリアフリー設計：高齢者や子ども連れにも配慮された設計。
- ・ 多目的トイレ・休憩スペース：快適な施設利用をサポート。

4. 課題と提案

課題点

1. アクセス面
 - ・ 最寄り駅（地下鉄東豊線「栄町駅」）から徒歩約15分とやや遠く、公共交通機関利用者の利便性向上が課題。
2. 閑散期の活用
 - ・ イベントが少ない時期の利用率低下が見られる。

提 案

1. シャトルバスの導入
 - ・ イベント開催時に最寄り駅からの無料シャトルバス運行を検討。
2. 閑散期の市民活動誘致
 - ・ 地域団体や企業と連携し、閑散期にも小規模イベントやワークショップを実施。
3. PR強化
 - ・ SNSやWebサイトを活用し、施設の利便性やイベント情報を広く発信。

5. 視察のまとめ

札幌市つどーむは、地域住民や観光客に愛される多目的施設として機能している一方、アクセス改善や閑散期対策が今後の課題として挙げられる。今後は、市民との協働やイベント誘致により、さらなる利便性向上と利用促進が期待される。

6. 所感

今回の視察を通じて、多目的施設としての柔軟な運用や市民の利便性向上に向けた取り組みが確認できた。地域施設の運営モデルとして、今後の施策に参考にしたい。

『視察写真』



出張報告書

令和 7 年 2 月 3 日

会派名 同志会

会長 小田部 照 様

出張者氏名 栗田 政男

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和 7 年 1 月 28 日(火) ~ 令和 7 年 2 月 1 日(土) [5 日間]						
出張概要	①	月日	R7 1/28	市町村名	那覇市	会場	琉球新報本-14
		目的	全国地方議員交流研修会への参加				
		テーマ	沖縄の緊急内閣				
	②	月日	R7 1/31	市町村名	那覇市	会場	那覇環境美化センター
		目的	ゴミ焼却の手法				
		テーマ	広域でのゴミ処理システム				
	③	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	④	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙(任意様式)で作成して下さい。

- 所見 -

沖縄県での交流研修は、全国から議員が集まり、最後80年を
戦場になった沖縄から老える姿-34であった。沖縄県民にとっ
て、まだ戦争が残した傷は深く残ったように感じた。
また私達 は忘れてはいけない過去の記憶を人々に感じた。

このことが平和につながることになる

友好都市の宇都宮市では、今回、銅鉄2も直面しているゴミ処理
について、広域処理している処理場を訪問して、焼却から
溶融炉までの流れにより、残量も、ほぼ0になる先進システム
を学んだ。新しい施設の建設も決定していることであり、400億円
規模になること、宇都宮市でも大変参考になると思った。